日本GAP山形支部機関誌

ユニバーサルメッセージ

7

日本GAP山形支部機関誌

ユニバーサルメッセージ 7

感謝 山口 緑 ... 1

アダムスキー哲学と人間の目的 柴田文子 ... 2

健康についてひとこと 本山恒明 ... 9

第1回 山形・仙台合同支部大会写真 ... 11

生命について考える事 原 弘子 ... 12

＝お便り紹介＝ ... 14

大盛況！山形・仙台合同支部大会 ... 15

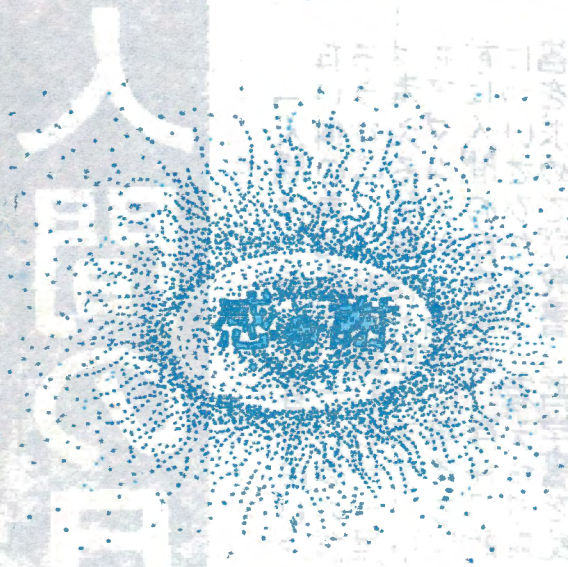
天元台宇宙大自然の旅 ... 16

お知らせ・編集後記 ... 17

表紙 柴田文子 女史

私がこの地球に生を受け早二十余年の歳月が流れました。その間何らかの形でおせわになった方々に対し心の奥底から感謝の意を表したい気持ちです。GAP両親、友人、恩師、諸先輩、本当にありがとうございます。感謝しきれないほどです。胸が詰まる思いです。自分にとってこの宇宙の中で自分の意味とは何でしょう。

このようにして万物は互いに多くのレッスンを積み重ね、生長してゆくのですから生きているということが実に素晴らしいことなのです。その素晴らしさを感じるとき"感謝"の気持ちが湧き起こってきます。感謝の気持ちのときは決して不幸だとは誰しも思いません。そういう意味でも幸せです。



"感謝"の想念は宇宙的なものであると言えます。つまりこれはユズミック細胞から来る印象なのです。

"感謝"の気持ちは万物との一体化につながっていきます。一日の仕事から帰り冷たいビールで喉をうるおし、おいしい食事ができることに感謝したり、野辺に咲く憐かしい草花の美しさを感じることに対する感謝、毎日自分を好きなところへ運んでくれる車やオートバイへの感謝。クツ、ラジカセ、書物、服、電燈、歯ブラシ、カメラ、胃腸薬：ニューズレター、バッグ、ペンに対して感謝の気持ちはすべてのものに対する感謝の想念をつかいます。他の抱く愛あるはばかりです。この想念は、宇宙の英知である媒体であり、一体化への架けはしとなってくれるのです。それは創造主宇宙の英知に対する感謝であり、宇宙的な生き方です。生きていることに感謝したい気持ちです。自体にまず感謝したい気持ちです。

なべての数知れぬものは自分以外のすべてが宇宙とつながっているものです。自分の作用を受けて、何らかの影響を与えます。それは外界と自分とが互いに助け合って生きているものです。

ていしまて自分無限ないう物事を学びます。

とおり、不必要補ひとりひっと存在しないのでしょう。

アダムスキー哲学と人間の目的

柴田文子

「人間は、そして自分はいったい何の為に存在しているのだろうか。」これは誰しもが一度は考える問題だと思います。私もアダムスキー哲学に接する以前に人間の存在理由、存在目的についてひたすら、考えたり解答を求めて宗教書、哲学書を乱読したりしました。でもその時には心から納得のできる解答を得ることができませんでした。しかし今は完全な解答をアダムスキー哲学の中から見出すことができます。

私達は存在するだけの理由と目的を持って、今ここにいることだけは間違いないと思います。決して理由もなく偶然に存在しているとは思えません。

では人間の目的とはいったい何でしょう。「学ぶこと奉仕すること」それが人間の目的だとも言われています。アダムスキー氏は『生命の科学』の中で「人間の大きな目的は宇宙の英知の無限の表現であるように思われます。……」と述べています。宇宙の英知の無限の表現―こ

われは人間全体の大きな目的のように思われますが、私達個人個人にもそれぞれの目的があると考えられます。この地球上には何十億という膨大な数の人間が住んでいますが、みんなの何らかの目的、理由を持っているのではないでしょうか。

まるで人間などいないでしょう。つまり自分なんて生きていてしかたがないと思うのです。目的の持たない人がいるとすると、軽蔑しくロにする人がいます。私々たちは進んで誰でもみんな立派な目的を持っているのですから、自信と尊敬と自分の存在に対して誇りを持つべきではないかと思います。

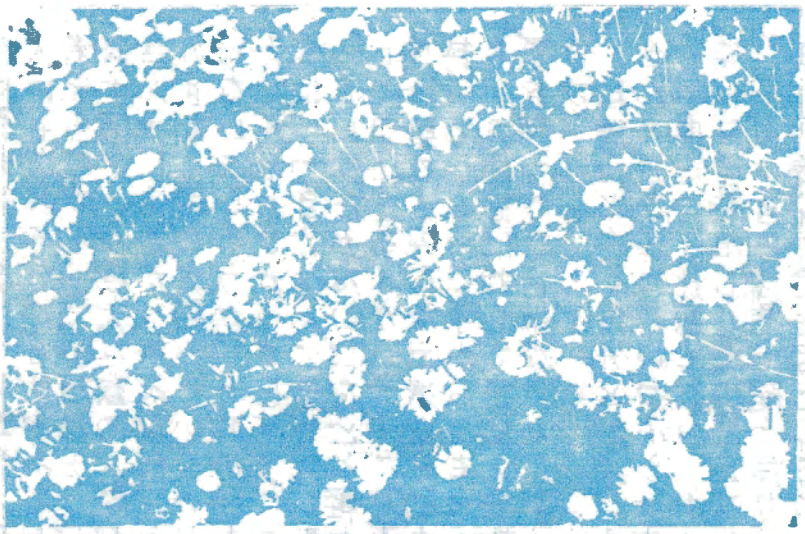
私達はとかく自分と他人、Aさん、Bさんというふうに何かの面につけ比較しあい、時には自己満足し、優越感を味わったり、自己嫌悪に陥ったり、嫉妬や羨望の念を起こしたりします。そんなことは何の意味もなすまいが、無価値なことだと言わねばなりません。なぜならみんな異なる目的を持っているからです。当然おのおのの目的に応じて能力の現われ方も違うのですから、比較する基準などあるはずはありません。

美しい花々を見て一面に芳香を漂わせ、温室にはちょっと眼を転じてみましょう。自然界の家の軒下の小さな花壇でどこかのいちょうの大輪の真紅のバラを見つけるとき、ひとわ美しく咲き誇っているのです。

風に合わせてダンスを踊ったり、光を浴びてキラキラ輝く金色の日光に春遠くの山々の緑はいずれも繁茂する野原でふしぎな朝露をつけた小さな真珠のような紫色の可憐な野すみれがさりげなく人知れずひっそりとその身を震わせています。

それらの花は無心にそれぞれの創造主を表現し、その宇宙の英知を表現しているのです。果して一杯の花も精一杯自分を表現しているだけで、けっして他の花にないものを目的を追求し、常に自分に与えられた能力の全てを注ぐべきではないでしょうか。

私たちもそうあるべきだと思うのです。人のことをあれこれ思う前に自分の使命と全力を傾注して最高の自分であれば良いと思うのです。私達は



をかけて創造主を表現するよう努力することは、この地球という楽園にいろいろな種類の美しい花々を咲かせることにも通じると思うのです。そのどれもが創造主の一面であり、必要だということはいうまでもありません。

私達が人生の中でアダムスキー哲学に接することができたことは非常に幸運なことだと思います。しかし、本当に大切なのはアダムスキー哲学を知識として知ることではなく、いかにして実践し、自分の生活の中でそれを応用し、自分を宇宙的な方向に進歩させるようにすることだと思います。

「意識と心を一体化せよ」というアダムスキー哲学を実践する為には、相当な信念と忍耐力、意志力を持たなければなりません。しかし私達が本当に楽しい、すばらしい生活を持とうと願い、宇宙的な人間になりたいと切望するなら、絶対に成し遂げなければならないことです。

物は創造主の世界に存在する英知によって創造された、宇宙の根源的なパワー、意志つまり意識が存在物のよって創造されたものです。そのような意識が食べ物、衣服、住居、人間の生活に必要なものを送り出すのです。

私達は決して何ものかの印象を追い求めるのではなく、こうした印象を追い求めるのではなく、こうした印象を追い求めるのではなく、こうした

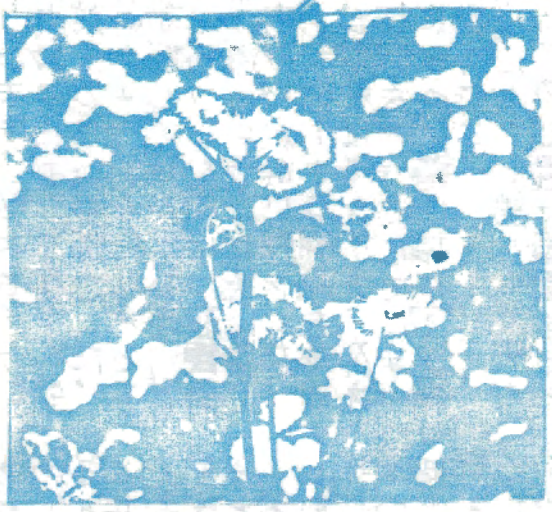
感覚器官で成り立っているセンスマインドがくだす、誤った判断のもとに生活していることが全ての悲痛や苦しい悩みの原因であると言われています。

私達はとかく日常のなさいなことに心配し悲観的なり、あれこれすぐ悩にうんだり面倒がり外に以前は分からない迷いの時状態に悲観的なり、

思い小人生において誰しもが大人になりの問題に直面し絶対に信念が確信さえあればいかなる問題をも解決できる自分の性格を変えることだと思うのです。

完全に何でもなければ問題を大きく振り回されます。

手つ取り早く外界の動揺に惑わされる心の迷い悩みの塊



問題を目差す私達。

私達は宇宙的な人間になるべき人間なのです。

人間は一度に二つのことについて考えることはできません。

当然非宇宙的想念は宇宙的なことと

全て最も大切なものだと思います。

人間の持つ限界があることを知り、自覚して限定されなければ、限界はありません。

物質的な数限りない欲望に目移りし、迷い、部屋の隅々に行き渡る。

停止せず、たえず働き続けているのですから、不満、心配、怒り、喜び、疑惑、それらの想念が数限りなく湧き起こります。ここで注意しなければならないのは、それらの想念に支配されてはいけないということです。

たとえば、「不安」という想念が湧き起こる。

「不安」という想念を終始心に抱き、気離れすることなく、何時なりとも手持ちの状態に支配されてしまうのです。

ただ一時なりとも安心できる場合、想念に支配されてしまうのです。

を考えることはできません。もちろん内部の意識からすばらしい印象がきたとしても感受することはできないでしょう。

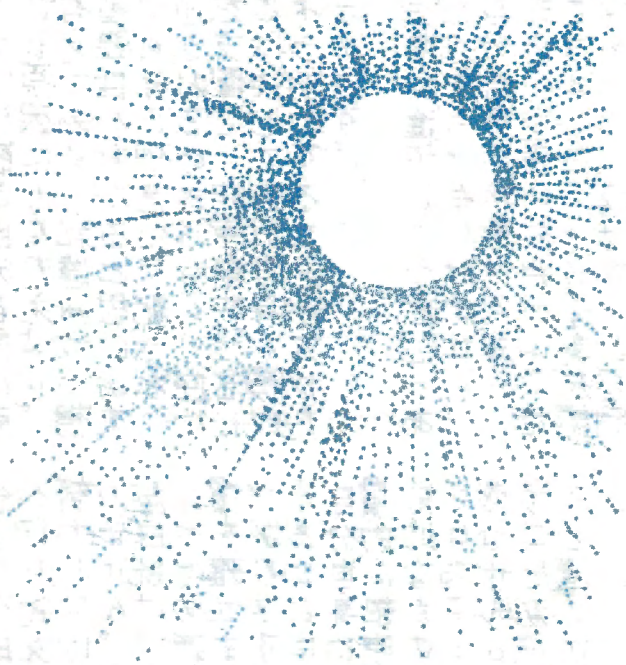
また、非宇宙的想念にとらわれ、時間とエネルギーの浪費であるばかりか、長く続けば一類は類を呼ぶという法則に従って良くない状態を自分自身に引き寄せる原因にもなりえます。

こう考えてみると私達が放つ想念の重要性がわかると思います。私達は自分の想念に支配され、振り回されるのではなく、逆に想念を支配し、非宇宙的想念に関しては決して自分自身を慣ないよう努力することが大切だけと思うのです。

私たちは進歩しようと思うあまり焦りすぎてもいけません。今の自分自身の状態は何年、何十年という長い年月の中で培われてきました。その事実を認めるならば、私達はもっと忍耐強くならなければなりません。この世界に生まれてから今まで何年もの間、習慣的想念によって支配されてきた自分自身を、とても一日や二日で変えることはできません。焦らずに落ち着いた気持ちで、想念観察によって自分の想念のパターンを知ることからはじめ、その習慣的想念を宇宙的な方向へ切り換えるよう努力しなければなりません。それを毎日続け、自分にとっての新しい習慣を確立する必要があります。そうすることによって自分自身の中の習慣的な細胞群を宇宙的なものに変化させることができるのです。緩慢な進歩ではあっても確実な一歩こそ私達を真の進歩した状態へと導くのです。

しばしば久保田先生はあらゆる物に対し無差別に、何の報酬もボめずに放射線を送り続ける太陽のような生き方についてのすばらしいお話をなさいます。先生もおっしゃるように自分自身を太陽にたとえて万物に対し慈悲、愛情、親切などの放射線を放って生きるならば、それはもう最高にすばらしいことであり、創造主はそのように生きる人を決して不幸なめにあわせたりしないと思います。

アダムスキー哲学はただ単に高度な知識を身につけたり、能力などを開発する為だけの哲学ではありません。自身自身を精神的な意味で成長させて、創造主に近づける為の哲学でもあるはずです。もちろんその為にも高度な知識や超能力なども必要でしょうか。



のような性質を自身の中に持ち、かつ実践する必要があると思います。

私達は愛や慈悲の精神、親切、寛容などをのびのびと偉大であることはできません。私達がアダムスキー哲学と呼んでいる、他の高度に進化した惑星に住む偉大なスペースブラザーズ・シスターズによって私たちに伝えられたすばらしい哲学は、これの地球上に永遠の平和と幸福を確立する為に私たちに与えられたものです。

そしてこの地球上に本当の平和と幸福を確立する上で、愛情や慈悲の精神、親切さなどは最も大切なものではないかと思います。

創造主は私達全てに対して何も求めず必要物の全てを与えています。ただ与えているだけです。それゆえにこそ私達もそうあるべきだと思うのです。太陽を観察してもわかるように、「愛」や「慈悲」「親切」などが創造主の属性であるなら、創造主の息子や娘である私たちもそ

宇宙の法則は不変であり、存在するもの全てにとって絶対です。どんなに時が移り変わっても永久に変わることはありません。そしてもし私達が宇宙の法則を守らなければ宇宙の法則によって自らわが身を滅することになります。

私達はたとえ他人と世間の目をごまかすことができても、真の自分自身、そして創造主だけは決してごまかすことができません。何を考えようと、何をしようと必ず何らかの形になってわが身に返ってきます。

最後に私達人間は創造主と人類に奉仕する為にこそ存在していると思われます。

腰痛とさようなら

本山恒明

私は以前ギックリ腰を起こし、接骨院や整形外科によく顔を出しました。そこの院長先生から、「あなたの腰はすぐ来なさい」と引導を渡されていました。それでゲルマニウム等も飲んだのですが、効果は一時的なもの、そうなんです。毎日続けて飲める程高いお金を取ってまうまいなんて、ばかばかしい。カンタンに治った話でもないし、ほっておいたらイメージ悪いことにはなるまい。

本を手に入れたわけです。その内容を読んだ！ここれだ！と思ったのです。早速始めたのですが、ろくなんでもないのですが、以前は明日雨になるかなら腰が痛み出してきます。年以上になるのうちに腰痛天気予報ができたのです。

私の職場の中にゼンソクを病んでいる人がいます。食べたら苦しくなるから、食べたいけれど、ピンポンをしたり、他の人達は皆無責任に、ニンニクを食べたりしていたのですが、

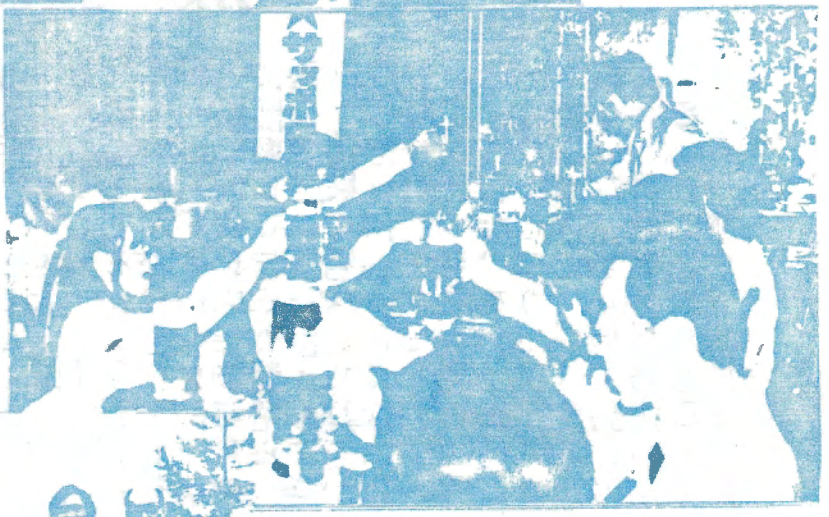
薬すをっでか骨な動で！私とか者るたしき私別ニ私ど者しも。生まじぶ折れ物しムも思らや事いご、産にのが知えかあそまりっ仕をば産ょがそいの薬にたをそは悪意腰るのしりこれ動と、し危はういう込物、なりしこ病い味をとまん人まにな物動ギて険ケ。つでんが指る、てで気事で痛こち間せけが産かブいのガしまして病圧よ漢昇治をではめろがはん優らはずスれなをかでた い気。う方後らすは過たにいち。秀知自にをばいしも。るを健で薬になるな失のなをちょっなっ分い作そ所た野続だ訳治康すや指いといをはって外てでるっこにり生いかでし食。健圧と大よお過たヤと科い治そてにか、にてらすてとつ康の次病うか失のとした医るすう直どく病生い健。くいま食門々院ですでいたも訳方でるろれ気きる康事れうりにをとにす事すうカ名で法す。まを、にるのブ実る外医類たは行。はが、ほ

方れい動にか病鹿間ス慢気ら人とと に薬 はを良が薬せたばし不良く等にはキ性にき間す完私すはあ医い心秀とを っ、て足い のなあ！化なのの全産ぎそな者い的れわひたまマかよ何急っま氏さっ妨お僅なのまのたでまなてめいですラらうもをたりもせた善せ大健身せお もす医いくてしまン腰でし用 に述るりをっな康体ん手な薬 者るのもょすンをすなすともべの、すか力体の一伝ので一はかで医うひ等痛。いる。考まで長るいがを中といでも病よ一す者、。どをめも方場かえしすびたがあ常に をす。ありを気く目か、逆くやたし が合ン過た。かめこるには し。りをこ瞭ら医になっと私かはやき。ア世にの訳保も て医ま治ん然ど者いるて感がえと自てッダた、はでとと い者せすなでち、ェーい道理っも血馬くムり病たす。うも るやん。の事す。ら薬。

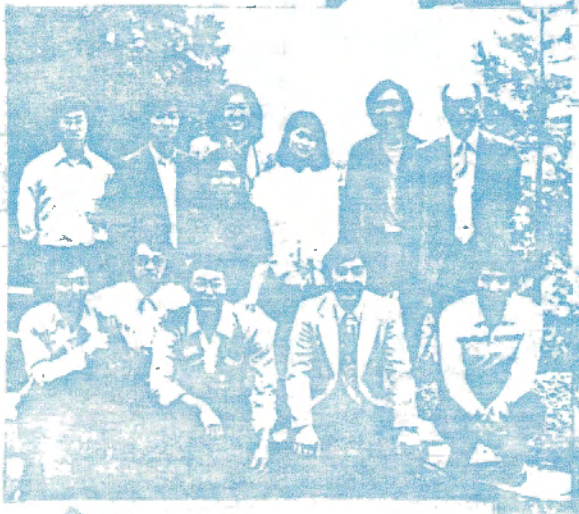
結まさば びちせ今 ―― にいのの薬人もいやこにがるの ―― すでのもあしの い人なの 中なるこ妙 生高本 で妙を類そ栄健のこい原健 し心も薬求のれ養康世んな因康 かが、はめ歴だも食にないのブ もけ決決た史け、が何事よひー 実るし事ので何あ々がうとム になてて実中はマる健述でつが 手ら高遠はで何体 康べす。で人 近ば価い多、の操し法て あ間 に日なとい不意もかとあこるを あ常もこ 老味ゴしいりのこ病 る生のろし不も口どうま本と気 の活でにか死な寝ん名す。のはに

第1回 5.25 山形・仙台合同交歓大会

↑受付



↑夕食会・カンパイ！



↑大沼湖畔にて

↑山形市霞城公園

詳細報告は15ページ

生命について考える事

原 弘子

過日GAP月例会に出席した際、山形支部機関誌「ユニバーサルメッセージ」第6号を入手する事が出来読ませて頂きました。そしてその中に書かれている幾つかの事にとても感銘しました。

私はGAPに入会してまだ一年余りしか経っておらず、意見発表なぞするには早過ぎるかも知れませんが、自分の気持ちを押えられずに出席し例会毎に取りました。東京の先生は殆ど毎月のように講義を聞き、質疑応答なども耳にタコ位聞いたGAPのユニバーク な皆さんの頃の考え方が、けっして余りあり、そしてその想念を如何にして宇宙的想念に変化させていったらよいか等をわかりやすく、体験的に述べられており、これなら私にも出来るのではないかと思い、歩むべき糸口がみつかったようにさえ思えます。

どんな素晴らしい講義を受けても感銘しても、それが実行されなければなにもなりません。しかしどのようにして実行し身をもって理解していったらよいかは自分独りになってみると難しい事ですが、特にアダムスキ氏の哲学は吾々地球的人間の持つ想念を、宇宙的想念の人間になろうとすべく自分自身の変身へ表現は的確でないかも知れませんが、へ訓練ですから、実際のところ途方にくれる始末といったところでした。今後もこの機関誌を通して、皆様の考えや在機たり方を知り、参考にしていきたいと思っております。

参考にしておりますルメッセージは特に山口氏の「原因と結果の法則」中の「人間の心の想念状態を浮彫りに

方月が員と持はだ哲学思人間方会し私てこの意見の様に素晴らしい皆様
にさ例まの何とつ学者、が問の質疑応じを述べる。
私てこの意見の様に素晴らしい皆様
会し私てこの意見の様に素晴らしい皆様
いの意見の様に素晴らしい皆様
質と意見の様に素晴らしい皆様
疑存見の様に素晴らしい皆様
応じを述べる。
人間応じを述べる。
間応じを述べる。
問答を述べる。
答を述べる。
を述べる。
述べる。
べる。
る。
。
。

動又ニよ素でまやらし　所ダ想事地てそくい変　れまさき
をGのう晴ク世行ず、し以ムつで球きしる人わたまれれ
持A素にらしん動ひむかかス想じはたてに間ろとせ変たた
つP晴こしで。を人としもキ念ょ、人そ産とうえん。わ人人
方のられいもそしで君想知ーがう素産のいなと再。る間産
々中しか未宇れてあにうれ哲勇。晴でよなっもび事のは
のでいら来宙でいりかはま学い私らもいういて、こが住一
想も哲もに的もる、え安世をてにしっなと生きの出む歩
念特学月迎想そ一住れしん学くこいば人思まっ地来他早
をにを例り念の人次ば。びるの惑い産うれと球るの く
キ高学会っを生間元木所行つのよ星にがの変素に の惑神
ャ度びにか持活になもい つもうにな生でわ晴生 か星の
ッのつ通れちの過考変は あ、なな っます っらま も に意
チ波っいる、中ぎえわ難 るア発るたれ。でしれ 知生図

=お便り紹介=　東京都葛飾区　山木益己氏

お元気でお過ごしでしょうか？
支部大会では大変お世話様になりありがとうございました。本当にすばらしい大会で圧倒されました。前夜祭、総会、夕食会から深夜におよぶ楽しい語らい、そして翌朝のドライヴと終始なごやかな雰囲気にみち、心から感謝しております。山口さん笠原さん、清水さんをはじめとする支部の方と親しく接したのは、これがはじめてといってよく、みなさまの建設的でなごやかな人柄には、心から感銘致しました。

26日のドライヴは目的地につくころは雨もやんで、霧のたちこめる湖のほとりをみなさまと一緒に散策しましたが、大自然が自分に語りかけてくるような気がしてとてもHAPPYでした！そして山形駅までわざわざ送っていただきまして本当にありがとうございました。お別れするのはなごりおしかったのですが、帰途に又列車内で、久保田先生の語られた『諸国をまわって体験をかさね、ついには他の惑星、他の太陽系銀河系と転生し、成長してゆく』という言葉をしみじみとかみしめ、人間成長のはてしないドラマに想いをはせたのでした。

みなさまと共にすごした日々のすばらしいひとときはいつまでも心に残るものとなるでしょう。本当にありがとうございました。心からおれいを申し上げます。東京月例会にも時々遊びにきて下さい。お元気で、支部のみなさまによろしくお伝え下さい。

してゆきたいと思っております。自分自身へのプラスにし

大盛況！山形・仙台合同支部大会

P 1980.5.25
支部大会

●1980年5月25日(日) 午前10時～午後5時半
●山形市民会館 大会議室
●参加者 47名

第1回山形・仙台合同支部大会が山形の初夏を色どる新緑もゆるかおりうるわしい日に、盛大に開催された。北海道札幌、函館、青森、秋田、福島と東北、北海道はもとより、東京、千葉、栃木、静岡、愛知など全国津々浦々より熱心なる方々が続々と詰め掛け、息つまるほどの高い宇宙的フィーリングが会場に満ちる。

回復まぎわの御身体ながら力強い口調で話される久保田主宰者のパワーに一同圧倒される。UFO問題の驚くべき真相、アダムスキー氏の説いた宇宙哲学の重要性、スペース・ピープルを意識した宇宙的な生き方、自衛力の本来の意味など重大極まりない問題が次々に語られる。参加者一同終始静粛を堅持し、記念撮影・質疑応答、映画上映と進む。浜村氏による昨夏のアメリカ中米宇宙考古学の旅」のサウンド付き映画は迫力に満ち、旅行のすばらしさが現実のものとして迫ってくる。

午後六時、駅前のバイキング料理店「龍鳳苑」で夕食パーティを開催しなごやかに談笑し合う。宇宙的に調和しあった人々が語り合うことほど有意義なことはないだろう。

翌朝は十数名にて、山形市近郊の「天沼」向け、霧をぬってドライブする。大自然の純粋な空気は格別である。鳥のさえずりは天からひびいてくるようだ。

大盛況だった。久保田主宰者、浜村氏、参加者各位、役員の方々に心から感謝する次第である。（編者）

日本GAP 1980.5.25
仙台合同支部大会

天元台宇宙大自然の旅

去る六月七日、八日の両日に渡り、山形支部主催の〝天元台宇宙大自然の旅〟が、米沢市の南方にある吾妻山の天元台にて行なわれた。この旅行は大自然との対話と参加者間の親睦を目的に企画され、遠く県外からは愛知県の佐分氏、青森県の中根氏、また山形県内からは真室川の高橋氏と、米沢市内の清水、中田両氏の計五名の参加となった。幸い前日までのぐずついた天候の心配もなく、晴れ模様の中で無事二日間の日程を終えることができ、参加者一同楽しく貴重な時間を過ごすことができました。

＊　＊　＊

六月七日

米沢駅より清水さんの車で出発。市内を抜け六月の新緑に包まれた山並をのぞみながら約一時間白布温泉に到着。ここで清水さんは中根さんを出迎えるため再び米沢市へ入る。残る三名がロープウェイで目的地、天元台へと向かった。

午後三時、清水さんと中根さんと合流。ようやく全員の顔合わせがそろう。野外で記念撮影などした後、ホテルへ。簡単に自己紹介をし、先頃、新潟支部大会でおこなわれた久保田先生の講演テープを聴く。信念と愛の法則を伝えた力強い内容で、各自心を強く打った言葉をくりかえしているようだ。

左端より中根、清水、高橋、佐分の各氏。

午後九時すぎ、ホテルの風呂で一日の疲れをとってから、すっかり夜の闇に包まれた屋外の運動場へ出、横になり天空を見上げる。不思議とここ天元台の上空だけ雲がぽっかり割れて、無数の星々が姿を見せている。引き込まれそうな星空と大地。大自然にふれて身をすっかり委ねることのなんと心安らぐことか。一瞬、未知の力で体をもち上げられる錯覚におちいる。各自それぞれたどってきた道は異なれど、何か見えない力に促されながら、未知なるもの、真実なるものを求めてきたようだ。夜の更けるまで大いに語り花を咲かせた。

六月八日

米沢市郊にある御成山で市内を眺望した後、市から七十キロ程西北にある小国町に足をのばす。ここでは中根さんが高校時代をすごされたキリスト教教育を主体とした独立学園を見学した。二千年前にイエスが伝えた哲学が、今こうして教育の中に生きていることはすばらしいことだ。こうして二日間にわたる予定を終え、帰途についた。（中田知氏記）

日本GAP

山形支部月例研究会

●毎月第1日曜日 午後1時～5時 ●山形市民会館小会議室

●会費 200円 ※11月GAP総会のため中止

プログラム／・東京月例会における「テレパシー」解説の録音テープ公開
・テレパシー練習 ・座談会

持参品 「テレパシー」

（連絡先）〒990 山形市東原町4-17-18 朝日荘23号 山口 緑
Tel.（勤務先） 0236（44）0670 現代学習セミナー

編集後記

◎大変長らくお待たせいたしました。非常に発行が遅れてしまい大変ご迷惑をおかけいたしました。しかし先号より六ページ増しましたので充実したと思います。

◎五月二十五日の第一回、山形・仙台合同支部大会はお陰様で大盛況をもって終了し、役員の方々、遠方よりご出席下さった方々に心から感謝しております。来春は会場を仙台に移し更に盛大な大会にすべく張り切っておりますので、来年もよろしくご参加下さるようお願い申し上げます。久保田先生、浜村さんにも心から感謝しております。

◎六月七、八日は天元台にて、天元台宇宙大自然の秘を開催し、少人数なるも内容の濃い二日間を過ごしました。開催のために力を注がれた清水氏、中田氏、高橋氏に謝意を表する次第です。また青森及び愛知という超遠方よりご出席頂いた中根氏、佐分氏には頭がありません。本当にありがとうございました。

◎昨年に引き続き今年も山形名物〝イモ煮会〟の開催を十月に予定しています。今回は久保田先生をお招きする予定ですので、ふるってご参加下さい。詳細は次号に掲載します。

◎GAP企画の「アメリカ南米宇宙考古学の旅」ももうすぐです。山形からは清水氏、柴田さんと編者が参加します。帰国後はスライド上映を予定しております。

◎原稿をお寄せ下さった方々に衷心よりお礼を申し上げます。

山形支部機関誌
ユニバーサルメッセージ 7
Aug. 10 1980
編集発行人 山口 緑
発行所 日本GAP山形支部
〒990 山形市東原町4-17-18 朝日荘23号
振替 山形 6525
頒価 100円・送料 140円